

堺市の依存症対策

【背景】

平成29年6月、国よりアルコール、薬物、ギャンブル等の各種依存症対策の推進を目的とした「依存症対策総合支援事業実施要綱」が定められ、都道府県、政令市ごとに、①依存症の専門医療機関の選定、②精神保健福祉センター（本市ではこころの健康センター）への依存症相談員の配置や、相談や医療の従事者等への研修の実施、③自助団体などの民間団体への支援を行いながら、医療、相談、民間団体などが一体となって地域支援体制を構築すると定められました。

【本市の取り組み】

＜精神保健課＞

■ 医療機関の体制整備

平成30年1月以降、「堺市依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関の選定に関する要綱」に基づき、①依存症専門医療機関を2か所、②依存症治療拠点機関として1か所を選定。

種別	医療機関名称	対象の依存症	選定日
依存症専門医療機関	金岡中央病院	アルコール	H30.1.22
	大阪精神医療センター	アルコール、薬物、ギャンブル	H30.3.29
依存症治療拠点機関	大阪精神医療センター	アルコール、薬物、ギャンブル	H30.3.29

＜こころの健康センター＞

■ 相談体制の強化（別紙）

- 平成30年4月「こころの健康センター」を「依存症相談拠点」の定める。
- 従前から行っていたアルコールと薬物に加えて、ギャンブル等依存者とその家族に対して実施。
 - ・ギャンブル依存症の専門相談と治療・回復プログラム（4月より）
 - ・ギャンブル依存症の医師による専門相談を（7月より）
 - ・ギャンブル依存症の家族教室（8月より）

■ 普及啓発活動（別添）

ギャンブル依存症啓発リーフレットを4,000部作成し、区役所窓口に配布（6月）。

■ 教育研修事業

医師や相談機関職員を対象に、ギャンブル依存を理解する研修を行う（8月以降予定）。
＊大阪府・大阪市との共同事業を含む。

■ 自助団体などの民間団体への支援

家族教室や各種啓発事業への講師出務などを通じて連携。